

今年おめでとうございます。皆様には輝かしいよいお正月を向かえられたことと、思います。昨年、岩田会長の後任としてご推薦頂き新会長に就任し身の引き締まる想いを致しました。

浅学菲才の身であり果たして大任を全う出来るかいまだ不安であります。皆さんと手をたづさせて努力する所存であります。四十数年の歴史を経過した鈴森会は、重本先生のご指導のもと、会員皆様のご協力により年初の計画通り円滑に活動し力強く前進して居ります。

昨年は世相を表す流行語の中に、私達、日常生活に身近なメタボリックシンドロームがとり上げられました。糖尿病は教育と検査の病気であると言われている通り、同じ悩みを持つ患者同志が正しい知識を身につけ、健常人に近い生活が出来ることを念頭にしている次第です。今や世相は古今東西変らな

い人々の願望をめざして若さを保ちとり戻す方向をめざして動き始めています。鈴森会発展のために頑張ります。



鈴森会会长 石川喜一郎



い人々の願望をめざして若さを保ちとり戻す方向をめざして動き始めています。鈴森会発展のために頑張ります。

ネクチンが増加する対策をとれば内臓肥満は改善され

る。

動物実験でアディポネクチンを末梢投与すると摂取

も拘らず、体重の減少がみられ、その体重減少は主に脂肪組織の蓄積脂肪量の減少によるもので、特に白色脂肪組織や肝臓の脂肪が減少、アディポネクチンは末梢作用で、

インスリン抵抗性改善作用

アディポネクチンの可能性

糖尿病の羅疾患者数が約750万人で、糖尿病が我が国の重要疾患であることは自明である。また、内臓脂昉蓄積を基本病態とし、インスリン抵抗性を引きおこし、さまざまな病態をおこす。健

康長寿を短縮させるこれら

の疾患群はメタボリックシ

ンドロームとして注目され、

国をあげての予防、治療が計

画されている。そのメタボリ

ックシンドロームの成因、病

態の基本になつてているのが

内臓肥満でその内臓脂肪由

來の各種アディポサイトカ

インの分泌異常が鍵を握っ

ている。なかでも、1996

年に松沢らが発見したアデ

ィポネクチンはインスリン

抵抗性の発生に強く関与し

ていることがわかった。アデ

ィポネクチンは脂肪細胞か

ら分泌される生理活性物質

でインスリン感受性を高め、

脂肪酸酸化を促進し、肝臓の

糖産生を抑制し、骨格筋の糖

輸送を促進し、脂肪酸酸化を

促進する。従つて、アディポ

ネクチンそのもの

抗動脈硬化作用

動脈硬化は血管が弾力性

を失い、血流物質を輸送しにくくなる病態をさす。つまり

アディポネクチンそのもの

の投与や関連物質の開発で多くの疾患（糖尿病をはじめ、メタボリックシンドロームを中心）に共通した効果がある重要な役割を果たすのがアディポネクチンで、常に高分子多量体として循環している。とくに傷害を受けている血管壁に集積する性質を持つていて動脈硬化形成ステップのすべての階段で関与し、血管を傷害から防御している。

アディポネクチンは我が国の寿命や経済に与える影響は大きく、今世紀最大のテーマである。いま、日本人によつて発見されたアディポネクチンは測定法が確立され、糖尿病発見の予測因子として利用されつあり、診断法としても確立されつある。すでに内臓肥満の人はアディポネクチンが低く、糖尿病を発症する。そのため、アディポネクチンが高く、糖尿病、高血圧、脳卒中、心筋梗塞の予測因子として臨床応用され、アディポネクチンを上げる方法として運動による体重減少を基本に植物性蛋白摂取、禁煙、禁酒、規則正しい生活が注目されている。これらの方針は、当クリニックではすでに平成「養生訓」十五ヶ条の中でのべている項目であり、あらためてその実行をおすすめしたい。さらに最新の研究では抗癌作用を含めた治療薬としての開発も行われており、今後、アディポネクチンそのもの

三菱ウェルファーマ株式会社
http://www.m-pharma.co.jp

創未来

三菱ウェルファーマは生命の輝きをテーマに医薬品の未来を創造します。

大塚製薬 ステビアサラサラ



●ポカリスエットステビアの電解質濃度	
電解質(mEq/l)	
Na ⁺	21
K ⁺	5
Ca ²⁺	1
Mg ²⁺	0.5
電解質(mEq/l)	
Cl ⁻	16.5
citrate ⁻	10
lactate ⁻	1

の投与や関連物質の開発で多くの疾患（糖尿病をはじめ、メタボリックシンドロームを中心）に共通した効果がある重要な役割を果たすのがアディポネクチンで、常に高分子多量体として循環している。とくに傷害を受けている血管壁に集積する性質を持つていて動脈硬化形成ステップのすべての階段で関与し、血管を傷害から防御している。

（重本 六男）

人に対する期待です。

人に対する期待です。